

# 大志

山岡中学校だより

令和6年度 1月末号



恵那市山岡町下手向 182-4 TEL 26-6882

## 上手なケンカができる人に

校長 後藤 琢磨

「上手なケンカ」とは、相手を傷つけないケンカです。体も心も傷つけてはいけません。

「そんなのケンカじゃない。」と思われるでしょうが、それが上手なケンカです。腹が立つ相手に穏やかに怒り、優しい口調で言いたいことを伝え、折り合いをつけたら笑顔で終わる。そんなケンカがベストです。

そう考えると、誹謗中傷、暴言、暴力は下手なケンカであり、戦争はその最たるものです。



学校に来る目的の1つが、よきケンカ相手を見つけることです。子どもたちは、幼少期からたくさんのケンカをしたことでしょう。そして、山岡中学校でも、毎日たくさんのケンカの種が生まれています。

中学生になると、下手なケンカは少なくなりましたが、必ずしも上手なケンカになるとは限りません。コソコソと陰口を言ったり、冷たい態度を取ったり、笑顔の終結とは

ほど遠い方向に進むことも多々あるようです。

陰口が悪いのは、陰口を聞かされることで傷つく人もいるということです。人の悪口は誰もが共感すると思ったら大間違いです。思わぬ隣人を傷つけている可能性があります。悪口に賛同することで、なんだか自分も悪人になっていく感覚はつらいものです。

以前、気弱な子が、強い子に口ゲンカを挑みました。気弱な子は、勇気を出して不満をぶつけると、その勢いに押されたのか、相手は変な言い間違いをしました。それがツボにはまり、二人とも笑いが止まらなくなり、それから二人は、無二の親友になりました。

思わぬケンカの功名です。面と向かうと予測不能な何かよいことが起きるようです。

